

第 8 期朝来市障害福祉計画・第 4 期朝来市障害児福祉計画策定部会（第 1 回）議事録

1 開催日時 令和 8 年 7 月 28 日（火） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分

2 開催場所 朝来市役所本庁舎本館 401、402 会議室

3 出席委員 11 名

馬場 民生 中井 寿美 小山 哲也 西田 利枝 池田 美和子 山中 秀基 青田 久美子
衣川 桂子 藤本 武宏 原田 友紀 小川 明美

4 欠席委員 4 名

嗟哦山 泰弘 守本 明枝 成田 恵祐 前田 裕

5 事務局

大石 哲也（健康福祉部長） 北島 周（社会福祉課長）

藤本 真由美（社会福祉課長補佐兼障害福祉係長） 小畑 知見（社会福祉課主任）

6 株式会社サーベイリサーチセンター（SRC）

片山 良巳（主管研究員） 山本 剛史（主任）

7 会議の経過、議題及び結果

(1) 開会 …北島課長

(2) あいさつ …大石部長

(3) 委員紹介 …北島課長

(4) 事務局職員及び株式会社サーベイリサーチセンター担当者紹介 …北島課長

(5) 部会長及び副部会長の選任 …小山部会長、衣川副部会長

(6) 議事

①計画策定について

事務局から資料 1（朝来市障害者自立支援協議会条例）により説明

SRC から資料 2（計画の概要）、資料 3－1（障害福祉計画及び障害児福祉計画に係る基本指針の概要）、資料 3－2（ひょうご障害者福祉計画、障害福祉実施計画の改定方針）により説明

②計画策定スケジュールについて

事務局から資料 4（第 8 期朝来市障害福祉計画・第 4 期朝来市障害児福祉計画策定スケジュール）により説明

③アンケート調査について

SRC から資料 5（障害者・児 関係者・団体への調査）により説明

委 員）卒業後の進路について、一般企業への就職はないのか。

委 員）過去にはあるが、本年度朝来市内ではない。

委員) 就職が難しいのか、求人がないのか。

委員) 就職する企業が少ないことは確かにある。障害者雇用を行っている企業はあるが、雇用枠が埋まっているところが多い。また、移動手段の問題が大きく、朝来市内は工場など交通の便が悪いところが多い。

事務局) 市役所では、障害のある学校卒業者を数名雇用している。

委員) 障害の事業所だけでなく福祉施設、介護保険の施設等も職員の確保が難しくなっている。年齢的にも資料にあるように 60 代、50 代、そして中心となるのは 40 代である。職員が確保できないと、縮小していくということも考えていかなくてはならない。今回の計画で、人材確保できるような工夫が必要である。

委員) 昨年度、兵庫県の育成会但馬ブロックの研修会でインドネシアからの従業員が数名紹介された。外国人を雇うということは検討しているか。

委員) 所属施設に関しては、ネパールの方が 3 名働いており、8 月中旬にもう 1 名雇用する予定である。市内でも海外の方を雇用する施設は多くなっている。市内の特別養護老人ホームではすべて外国人を雇用しており、1 施設あたり 4 名以上雇用していると認識している。

④障害のある人を取り巻く状況について

事務局から資料 6 (障害のある人を取り巻く状況) により説明

委員) 朝来市の人口は今後減少傾向と聞いたが、障害者手帳所持者数はどうか。

SRC) 身体障害者については高齢の方が多い状況である。高齢化率は上がっているが、高齢者の実数自体は減少傾向に移っており、それに比例して身体障害者の数も下がってくるという状況が伺える。知的障害、精神障害については、障害に対する理解や制度の周知等を背景に、増加傾向が続くと考えられる。

⑤第 7 期障害福祉・第 3 期障害児福祉計画の取組状況について

事務局から資料 7 (障害福祉計画・障害児福祉計画の実績) により説明

委員) 短期入所 (ショートステイ) について、昨年度に 1 か所が休所になったが、その事業所を利用できなくなったために利用人数が減っていると理解してよいのか。

事務局) そのとおりである。

委員) 短期入所 (ショートステイ) について施設がなくなったため利用者が減ったということは、需要に対応できていないということか。また、事業所アンケート調査で、サービス提供者や供給量が不足しているサービスとして計画相談支援が最も多いが、相談支援専門員の育成について教えていただきたい。

事務局) 短期入所については施設の人材確保や休止した事業所等の影響があり、短期入所を希望されている方がいるにもかかわらず、対応できる施設がない状況である。計画相談については、令和 6 年度に休止した事業所がある。また、市外の相談支援事業所に朝来市の方を数年間担当していただいたが、担当が難しくなり、朝来市の相談支援に引き継いだケースが数件ある。そのため、相談支援専門員一人当たりの担当件数が増え、一人ひとりの負担が大きい状況になっていると推測する。

- 委員) これは但馬全体の課題である。相談支援専門員の受講者はいるが業務に就いていただけない。また、各市町とも計画相談を希望する方が増えてきており、対応が難しい状況である。圏域として検討しなければならない。
- 委員) 放課後等デイサービスの利用者数が令和7年度に微増している。事業所アンケートの現在のサービス提供状況では、放課後等デイサービスが6～7割程度の利用率と記載されているが、これは対応できるということか。
- 事務局) 放課後等デイサービスについては事業所の受け入れ体制が飽和状態であったが、今年度空きは多少あるのではないかと把握している。
- 委員) 短期入所について、福祉型と医療型があるがどちらの利用者が多いか。また、短期入所や施設入所の場合、近隣の施設を利用しにくい、県内、県外と市内のどちらの施設を利用している人が多いか。
- 事務局) 朝来市においては福祉型が多い。市内・市外及び県内・県外の利用状況については資料がないため、次の部会等で回答したい。
- 委員) 全体を通しての質問になるが、サービス見込み量とは具体的にはどのようなことか。
- SRC) 次期計画でいえば令和9年度から令和11年度の3か年の計画値を実績値から判断し、伸び率と実績から見込んでいく。計画素案の段階で見込み量を示し、委員の皆様には審議いただく予定である。
- 委員) 行動援護や重度障害者等包括支援の利用は0が続いているが、これはヘルパーがいらないから0であるということか。利用者がいない、利用者がいないからヘルパーが育たないという認識でよいのか。
- 事務局) 必要な資格を有するヘルパーの確保が難しく、市内に対応可能な事業者がない。そのため利用者もいないという可能性がある。
- 委員) 実績から見込み量を考えていくと言われたが、希望者がたくさんいても、実績が出てこなければ見込み量には現れないということか。
- SRC) そのとおりだが、事業者の課題や団体のニーズも踏まえて検討する。実績値だけでなくニーズも捉えた形での見込み量になる。
- 委員) 自立支援協議会では職員や相談員が、ご家族の思いやご本人の思いを汲み入れながら、どうしていくかを検討する。そういった現場の声がこの計画書に反映されてほしい。
- 部会長) 本日の議題は以上。

(7) その他 …北島課長

①第2回策定部会について

9月28日(月)13時30分～ 朝来市役所本庁舎本館401、402会議室にて実施予定

(8) 閉会 …北島課長